



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社セイファート 上場取引所 東  
コード番号 9213 URL <https://www.seyfert.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 高志  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部部長兼経理部部长 (氏名) 西山 一広 (TEL) 03-5464-1490  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 2024年9月13日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,150	0.7	80	△36.3	87	△31.6	61	△30.9
2023年12月期中間期	1,142	△0.9	126	△9.6	128	0.0	89	8.9

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 71百万円 (△24.4%) 2023年12月期中間期 94百万円 (7.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	46.89	46.80
2023年12月期中間期	67.81	67.72

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	1,811	1,138	62.9
2023年12月期	1,817	1,109	61.0

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,138百万円 2023年12月期 1,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	10.00	—	32.00	42.00
2024年12月期	—	10.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	32.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,279	5.2	203	16.7	201	15.7	139	13.5	105.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2024年12月期中間期	1,320,800株	2023年12月期	1,320,800株
2024年12月期中間期	一株	2023年12月期	一株
2024年12月期中間期	1,320,800株	2023年12月期中間期	1,320,800株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会開催)

当社は、2024年8月20日(火)午前10時より、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会 (Web説明会) を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料につきましては、当決算短信の補足資料として開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善等、個人消費は持ち直している一方で、為替の影響等による長く続く物価上昇や海外景気の下振れリスクにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する美容業界におきましては、消費者のニーズは回復基調にあり、業況としては上昇傾向にありますが、来店間隔の長期化や美容室経営の競争の激化等の懸念もあり、引き続き注視が必要な状況が続くと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループはサロンサポート事業を通じて、美容業界に向けた「広告求人サービス」による美容室経営企業の課題解決、「紹介・派遣サービス」による優秀な美容師人材の供給、「教育(その他)サービス」による教育機会の提供等により、美容業界の活性化を促進するための取組みを継続しております。

当中間連結会計期間における「広告求人サービス」、「紹介・派遣サービス」、及び「教育(その他)サービス」の状況は、以下のとおりであります。

#### 「広告求人サービス」- 美容業界向けWebメディア等の広告を中心としたサービス

同サービスは、美容業界に特化した求人情報サイト「re-request/QJ navi」(転職美容師向け)、「re-request/QJ navi 新卒」(新卒美容学生向け)、合同会社説明会「re-request/QJ 就職フェア」、及び美容室プロモーションメディア「beauquet」等の商品から構成されております。

新卒採用市場における「re-request/QJ 就職フェア」、美容学生向け就職情報誌「re-request/QJ FOR ROOKIES」、及び「会社案内」等の新卒採用関連商品は、2025年3月卒業予定美容学生の就職活動の活発化を受け、過去最大規模のリアルフェアを開催したこと等により出展企業数が増加いたしました。それに伴い、美容室経営企業の「会社案内」制作需要が高まったこと等により、好調に推移いたしました。

美容室プロモーションメディア「beauquet」と「タブレット・レンタル」は、タブレットの配荷が順調に進み、それに伴いクロスセルに注力し、消費財メーカー・広告代理店からの大型プロモーション案件を相次いで獲得いたしました。また、新規顧客の開拓にも取組んだこと等により好調に推移し、通期売上予想を期中でほぼ達成しております。

中途採用(転職)市場における「re-request/QJ navi」は、2024年3月に公式アプリをリリースし、ダウンロード数を積上げる等、ユーザーの利便性向上を図りましたが、掲載件数が未だ想定を下回っており、低調に推移いたしました。しかしながら、サブスクリプションプラン(長期化する採用課題を解決するための定額掲載プラン)の掲載件数増加によって、顧客の裾野を広げ、「re-request/QJ navi」の更なる商品力の向上に取り組んでおります。

その結果、「広告求人サービス」は、売上高830百万円(前年同期比0.9%減)、売上総利益557百万円(前年同期比10.4%減)修正となりました。

#### 「紹介・派遣サービス」- 美容師と美容室経営企業をOne to Oneで繋ぎ、働く場を提供するサービス

同サービスは、美容師に特化した人材紹介「re-request/QJ agent」、人材派遣「re-request/QJ casting」、及びヘアメイク手配「re-request/QJ ヘアメイク」等の商品から構成されております。

「re-request/QJ ヘアメイク」は、成人式の施術顧客数が増加したこと、及び家電メーカーや着物レンタル企業等からの案件需要が拡大したこと等により好調に推移いたしました。

「re-request/QJ casting」は、稼働美容師数は減少したものの、売上総利益率向上に努めたことで収益性を高め、堅調に推移いたしました。

「re-request/QJ agent」は、Webからの登録者数は大幅に増加しておりますが、そこから面談に繋げる面談率の改善に時間を要しており、人材紹介の成約数が想定よりも下回ったことから低調に推移いたしました。

その結果、「紹介・派遣サービス」は、売上高188百万円(前年同期比7.8%減)、売上総利益70百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

#### 「教育(その他)サービス」- 美容師や美容学生向けの産学協同による実践型教育を中心としたサービス

同サービスは、関係会社であるSEYFERT International USA, Inc.の美容室運営、美容業界向け教育プログラム「資格証明」(美容学校向け)、「アカデミー」(美容室経営企業向け)等から構成されております。

「資格証明」は、産学協同に資する当プログラムの導入美容学校数増加に伴い、賛同美容室経営企業数、及び認定試験官(エグザミネーター)数も増加したこと等により、好調に推移いたしました。

SEYFERT International USA, Inc.については、米国カリフォルニア州にて運営する美容室2店舗において、稼働美容師数の増加に伴い顧客数が増加、及び顧客単価が向上したことにより好調に推移いたしました。

その結果、「教育(その他)サービス」は、売上高130百万円(前年同期比31.7%増)、売上総利益61百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高1,150百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益80百万円(前年同期比36.3%減)、経常利益87百万円(前年同期比31.6%減)となり、法人税等合計25百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は61百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

なお、当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略いたしております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は1,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

#### 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産合計は1,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の減少となりました。

これは主に、売掛金が45百万円増加した一方で、現金及び預金が67百万円、未収入金等のその他流動資産が11百万円減少したことによるものです。

#### 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産合計は448百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。

これは主に、ソフトウェアが12百万円、ソフトウェア仮勘定が7百万円、繰延税金資産が2百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は672百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。

#### 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債合計は501百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が7百万円、賞与引当金が6百万円増加した一方で、契約負債が31百万円、1年内返済予定の長期借入金が16百万円減少したことによるものです。

#### 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債合計は170百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

これは主に、リース債務が4百万円、退職給付に係る負債が1百万円増加した一方で、長期借入金が9百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。

これは主に、2023年12月期期末配当の支払により利益剰余金が42百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益を61百万円計上したことにより利益剰余金が増加、為替換算調整勘定が9百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し1,013百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は63百万円(前年同期は114百万円の増加)となりました。

これは主に、売上債権の増加45百万円(前年同期は16百万円の減少)、契約負債の減少31百万円(前年同期は26百万円の減少)、法人税等の支払22百万円(前年同期は11百万円の支払)により資金が減少した一方で、税金等調整前中間純利益の計上87百万円(前年同期は128百万円)、減価償却費の計上35百万円(前年同期は27百万円)、賞与引当金の増加6百万円(前年同期は0百万円の減少)、仕入債務の増加6百万円(前年同期は18百万円の減少)により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は6百万円(前年同期は47百万円の減少)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入100百万円(前年同期は該当なし)により資金が増加した一方で、無形固定資産の取得による支出70百万円(前年同期は46百万円の支出)、定期預金の預入による支出30百万円(前年同期は該当なし)、有形固定資産の取得による支出5百万円(前年同期は0百万円の支出)により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は69百万円(前年同期は86百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払43百万円(前年同期は40百万円の支払)、長期借入金の返済による支出25百万円(前年同期は45百万円の支出)により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日付「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,191,379	1,123,791
売掛金	85,792	131,319
棚卸資産	6,951	6,529
その他	113,784	102,361
貸倒引当金	△1,296	△932
流動資産合計	1,396,609	1,363,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,898	51,264
減価償却累計額	△17,605	△20,314
建物及び構築物(純額)	30,292	30,950
機械装置及び運搬具	6,595	6,768
減価償却累計額	△6,314	△6,542
機械装置及び運搬具(純額)	281	225
工具、器具及び備品	74,077	80,046
減価償却累計額	△60,765	△64,927
工具、器具及び備品(純額)	13,311	15,118
有形固定資産合計	43,885	46,294
無形固定資産		
ソフトウェア	188,511	200,529
ソフトウェア仮勘定	900	8,397
その他	1,445	1,368
無形固定資産合計	190,857	210,295
投資その他の資産		
投資有価証券	28,495	28,440
長期貸付金	9,090	9,090
繰延税金資産	64,615	67,474
その他	127,481	131,801
貸倒引当金	△43,571	△45,062
投資その他の資産合計	186,111	191,744
固定資産合計	420,854	448,335
資産合計	1,817,464	1,811,405

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	53,678	60,052
1年内返済予定の長期借入金	35,292	19,183
リース債務	—	1,056
未払法人税等	28,427	36,204
契約負債	250,703	219,487
賞与引当金	26,557	32,653
その他	140,527	133,331
流動負債合計	535,186	501,970
固定負債		
長期借入金	14,185	5,000
リース債務	—	4,109
退職給付に係る負債	157,712	159,648
その他	1,134	2,174
固定負債合計	173,031	170,932
負債合計	708,218	672,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,796	266,796
資本剰余金	216,796	216,796
利益剰余金	619,779	639,441
株主資本合計	1,103,372	1,123,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350	313
為替換算調整勘定	5,523	15,155
その他の包括利益累計額合計	5,873	15,468
純資産合計	1,109,245	1,138,502
負債純資産合計	1,817,464	1,811,405



## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,142,402	1,150,439
売上原価	391,901	461,917
売上総利益	750,501	688,522
販売費及び一般管理費	623,688	607,732
営業利益	126,812	80,789
営業外収益		
受取利息及び配当金	334	1,145
為替差益	3,069	4,763
受取賃貸料	647	730
債務勘定整理益	462	581
業務受託料	—	600
その他	232	1,850
営業外収益合計	4,746	9,671
営業外費用		
支払利息	2,498	2,139
シンジケートローン手数料	499	499
その他	253	52
営業外費用合計	3,251	2,692
経常利益	128,308	87,769
税金等調整前中間純利益	128,308	87,769
法人税、住民税及び事業税	39,252	30,163
法人税等調整額	△502	△4,321
法人税等合計	38,749	25,842
中間純利益	89,558	61,927
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	89,558	61,927

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	89,558	61,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△37
為替換算調整勘定	5,031	9,632
その他の包括利益合計	5,071	9,594
中間包括利益	94,629	71,522
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	94,629	71,522
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	128,308	87,769
減価償却費	27,038	35,213
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,395	1,126
賞与引当金の増減額(△は減少)	△339	6,096
受取利息及び受取配当金	△334	△1,145
支払利息	2,498	2,139
為替差損益(△は益)	△3,174	△4,980
シンジケートローン手数料	499	499
売上債権の増減額(△は増加)	16,045	△45,527
棚卸資産の増減額(△は増加)	438	813
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,543	6,242
契約負債の増減額(△は減少)	△26,460	△31,240
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,838	1,936
その他	△1,032	28,417
小計	127,385	87,360
利息及び配当金の受取額	334	1,145
利息の支払額	△2,490	△2,127
法人税等の支払額	△11,085	△22,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,144	63,582
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△30,000
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△876	△5,280
無形固定資産の取得による支出	△46,433	△70,767
その他	△567	△499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,876	△6,548

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△45,869	△25,294
リース債務の返済による支出	—	△357
配当金の支払額	△40,467	△43,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,336	△69,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,264	15,011
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,804	2,412
現金及び現金同等物の期首残高	1,037,054	1,011,379
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,025,249	1,013,791

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。